

＋ 赤十字いしかわ

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

令和4年度秋号



大雨による被害を受けた小松市中ノ峠町



令和4年8月3日からの大雨災害

～大雨による被害を受けた地域で復旧支援をする赤十字ボランティア～



救うを託されている。➤

活動資金へのご協力を、よろしくお願いいたします。

日本赤十字社石川県支部

赤十字 いしかわ

検索

石川県支部
ホームページ



Facebook



Twitter



日本赤十字社キャラクター

ハートちゃん

石川県観光PR
マスコットキャラクター
ひやくまんさん

石川県支部オリジナルピンバッジ
©2013 石川県 ひやくまんさん #0937

令和4年8月3日からの大雨災害

大雨災害により、石川県内でも多くの方が被災されました。赤十字ボランティア・各赤十字奉仕団の方々は被災地に入り、それぞれの思いで復旧支援活動にあたりました。

被災状況

- 人的被害 重傷者1名 軽傷者6名
- 住家被害 全壊1軒、半壊4軒、一部破損17軒、床上浸水319軒、床下浸水1,174軒
- 6市1町に災害救助法が適用
(金沢市、小松市、加賀市、白山市、能美市、野々市市、川北町)

小松市中ノ峠町 町会長 橋本 隆志 氏

8月4日の明け方に降った雨水が引いたのですが、念のため仕事を休むことにして母親と家にいたところ、午前10時頃に家の中に雨水が入ってきてあっという間に1階の床上まで浸水してきました。雨水の突然の浸水のため自分の身の安全を確保するのが精一杯だったので、1階の台所に日頃から備えていた避難袋や食料は避難した2階へ持っていきませんでした。午後9時半頃にレスキュー隊に救助されるまで、ようやく見つけたペットボトルの水を二人で飲み、口ウソクのあかりを頼りに過ごしていました。

家の片付けは一週間ほど手を付けられませんでした。土砂



の片づけから家の中の量や棚などを全て出してからの泥のかき出し作業など、なかなか家族だけでやるのは無理な作業だったので、本当に助かりました。

能美市赤十字奉仕団チーム20 委員長 田中 策次郎 氏

大雨災害被災地の復旧支援のため、能美市奉仕団員延べ40名が連日災害ボランティアセンターの運営補助と床下泥上げ・屋外泥撤去・災害廃棄物運搬等の現場作業を行いました。被災地での災害ボランティア経験のある奉仕団員の指示でサテライトや現場での作業に能美市赤十字奉仕団が中核的な役割を担い、復旧支援活動には日頃からの経験と知識が大切だと改めて感じました。今回の経験を活かし奉仕団員が被災地支援にそれぞれリーダーシップをとれるようになればと思います。



北陸大学学生奉仕団 大坪 慎太郎 氏

大雨災害被災地の復旧支援のため、災害ボランティアとして泥かきや清掃、浸水して水を含んでしまった畳や家具などの移動を行いました。

ボランティアを依頼している住民の多くは高齢者で、活動の中心は力仕事であるため、若者や力がある人が必要であり、ボランティアの大切さを改めて感じました。このような活動を通して地域の方々の為に貢献することができ、一つ自信を持ってうれしく思えました。今回の活動をもとに、これからもボランティア



精神を忘れず、幅広い分野で人々の一助になりたいと思います。

赤十字防災ボランティア リーダー 北村 裕一 氏

赤十字の防災ボランティアとして、普段の防災セミナーでは応急手当や災害時の対応を啓発しています。

私は、災害が起きた時、日頃の近所の会話がいかにか大切であるかを実感します。どこにどのような人がいるか、住民同士が知っておくことが防災力を高めるのです。私は、一番の防災力はこのような住民同士の関係性だと思っています。日頃からの関係性がしっかりしていれば、いざという時に助け合う力になるのです。

被災地では一人でも多くのボランティアを求めています。被災地でボランティアをしたと思う方は、健康に気を付けて、汚れても大丈夫な格好で、ぜひ参加してもらえたらと思います。



ACTION!4プロジェクト

石川県支部では、社会変化を背景とした地域課題の解決に向けて積極的にチャレンジし、より良い地域づくりに貢献していきます。その活動のベースとなるのが下記の4つのACTIONプロジェクトです。

住民・企業・行政・赤十字の4者が緊密に連携しながら、これらの活動を展開しております。

✓ ACTION! 人命救助

アクシデントがあっても、
勇気をもって行動できる人を育てよう



例えば

ボランティア、
行政と連携

金沢マラソン、全日本競歩輪島大会といったスポーツイベントや金沢百万石まつりで赤十字ボランティアが救護活動を行っています。

2021年の金沢マラソンでは、AED隊の一員として参加していた赤十字ボランティアらが、心停止を起こした一般ランナーを救護し、無事一命をとりとめました。

✓ ACTION! 防災減災

不測の事態にも対応できるように
防災減災活動に取り組もう



例えば

企業と連携

サッカーJ2リーグ ツエーゲン金沢の赤十字応援試合や各種イベントでの防災啓発ブース出展など、防災・減災の意識を高めるための活動を行っています。

防災啓発ブースではこれまで色々な企業様と連携してまいりました。今後は企業や地域住民の方を交えた防災図上訓練の開催を計画しております。

ACTION!4

✓ ACTION! 感染防止

感染症から身を守り、
安全で安心して暮らせる地域を目指そう



例えば

スポーツチームと
連携

北國銀行ハンドボール部Honey Beeの選手を対象として、感染症対策の基本である正しい手洗いを学ぶための講習会を開催しました。

今後は同チームと連携し、赤十字応援試合での手洗い啓発ブースの出展や、ハンドボール教室と併せた手洗い講習会の開催も計画しております。

✓ ACTION! 無病息災

野菜づくりや各種教室を通じて、
住民の健康増進を図ろう



例えば

地域奉仕団と
連携

地域の健康づくりの増進を目的とし、奉仕団活動の一環として、遊休農地での野菜づくり、ノルディックウォーキング、ラフターヨガ等を実施します。

かほく市奉仕団ではモデル奉仕団として、市内の遊休農地を使いサツマイモ、ネギ、キャベツの栽培を始めました。収穫した野菜は能登地区チャリティバザーで販売しました。

日本赤十字社では、ともに活動してくれるパートナーを募集しております。
このプロジェクトにご関心のある方は、お気軽に石川県支部までお問い合わせください。

支部長就任のご挨拶

このたび、令和4年3月27日付をもちまして、日本赤十字社石川県支部支部長を拝命いたしました。

赤十字活動の推進につきましては、平素より県民の皆様及び地区・分区はじめ関係の皆様から深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

もとより微力ではございますが、これまでの日本赤十字社の歴史を継承し、新しい風を吹き込みながら発展させ、新しい時代を切りひらくよう誠心誠意努めてまいり所存でございますので、何卒皆様方のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

日本赤十字社石川県支部

支部長 馳 浩



ウクライナ人道危機救援金

令和4年2月24日以降、ウクライナ各地で戦闘が激化。日々子どもを含む死傷者が多数報告され、多くの人びとがウクライナ西部および周辺国（ポーランド・ハンガリー・スロバキア・モルドバ・ルーマニア・ロシア・ベラルーシ）やその他の国々に避難するなど極めて深刻な人道危機が起こっています。

未だ続く戦闘により、一般市民の命は危険にさらされ、インフラや経済は混乱。避難民を受け入れる地域でも、医療体制の逼迫や食料安全保障の状況悪化などが報告され、紛争が中長期化すると共に人道支援のニーズは高まり続けています。

石川県支部では救援金に関するお問い合わせが多数寄せられたことから、皆さまの思いを避難されている方へお届けする一助となれればと思い、イベントでの募金活動や赤十字募金箱の設置協力者の募集を行いました。



ウクライナ ウジュホロドで衛生キットを配布する
赤十字スタッフ ©IFRC Marko Kokic



ツエーゲン金沢「日本赤十字社応援試合」での
募金活動の様子



金沢工業大学「DK art café」の
街頭募金イベントの様子



寄付により馳支部長から感謝状が贈られた
有限会社能登電業社 様

(令和4年9月22日時点)

石川県支部での受付金額

947万9,542円 (107件)

(令和4年9月22日時点)

石川県支部での募金箱の設置協力者

28団体様 (計120個の募金箱を
設置いただきました)

(令和4年9月6日時点)

日本赤十字社全体での受付金額

68億1,989万6,242円 (74,474件)

(令和4年8月5日時点)

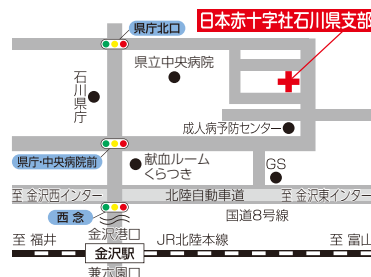
ICRCおよびIFRCへの資金補助

50億円 (赤十字国際委員会 (ICRC) へ25億、
国際赤十字・赤新月社連盟 (IFRC) へ25億)
・800万人に安全な水の提供
・71万8,000人に保健医療支援を実施
・500万人に基本的支援(物資支援など)の提供

受付金額から資金補助を除いた額については、日本赤十字社が行う避難民への緊急支援および復興支援活動に充てさせていただきます。

日本赤十字社 石川県支部
Japanese Red Cross Society

〒920-8201 金沢市鞍月東2丁目48番地 石川県医師会・日赤共同ビル 1階
TEL:076-239-3880 FAX:076-239-3881
<https://www.jrc.or.jp/chapter/ishikawa>

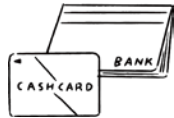




赤十字の活動を支えているのは、県民のみなさまで
赤十字活動資金へあたたかいご協力をお願いします



ご寄付の方法



—// 郵便局・銀行の口座振替で
QRコードより申込書をダウンロードし、必要
事項ご記載のうえご郵送ください。毎年・毎
月からお選びいただけます。



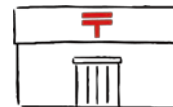
—// クレジットカードで
QRコードからの登録により、クレジットカード
でご寄付いただけます。毎年・毎月・今回
のみからお選びいただけます。



—// スマホアプリで
QRコードよりスマホアプリをダウンロードし
て、ご本人様の情報を入力後、募金アイコ
ンからご寄付いただけます。



—// お近くの窓口で
石川県支部または、お住いの市町・社会福祉協議
会の赤十字窓口でご寄付を受け付けております。



—// お近くの郵便局・銀行で
払込票に寄付金額、住所・氏名等を記載し、郵便局・銀
行の窓口にてご寄付いただけます。(払込票は下記を切
り取ってお使いください)

税制上の優遇措置

日本赤十字社へのご寄付は確定申告することで個人の所得税や企業の法人税の控除を受けられます。

個人の場合

優遇区分	措置の内容等
所得税 (所得控除)	寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年 間所得総額の40%まで)から2千円を差し引 いた額が、寄付者の年間所得総額から控除 されます。

法人の場合

優遇区分	措置の内容等
法人税	通常の寄付金の損金算入限度額と合わせ て、別枠で算出した特定公益増進法人に対 する寄付金の損金算入限度額を損金に算 入することができます。

表彰制度

赤十字活動資金のご協力に対して、次のとおり表彰制度を設けています。

日本赤十字社の表彰	条 件	表彰品	個人のみ選択
特別社員 (個人のみ)	累計額が2万円以上	個人: 称号付与通知書	支部表彰品(こちらから1つ選択)  門標(陶器製)  オリジナルピンバッチ  クロス防災グッズ8点セット 巾着(左記写真)、タオル、携帯トイレ、スリッパ、マスク、レインポンチョ、ブランケット、ホイッスル
銀色有功章 (個人・法人)	累計額が20万円以上	個人: 有功章(楕型) 法人: 有功章(楕型)	
金色有功章 (個人・法人)	累計額が50万円以上	個人: 有功章(勲章型)、章記 法人: 有功章(楕型)	
社長感謝状 (個人・法人)	金色有功章受章後、 累計額が50万円以上	個人: 感謝状 法人: 感謝状	
国の表彰	条 件	表彰品	備 考
厚生労働大臣感謝状 (個人・法人)	個人: 100万円以上 法人: 300万円以上	個人: 感謝状 法人: 感謝状	・同一年度内での寄付累計額が条件を満たす必要があります。 ・同一寄付で紺綬褒章と同時申請はできません。
紺綬褒章 (個人・法人)	個人: 500万円以上 法人: 1,000万円以上	個人: 褒状、褒章 法人: 褒状	・分納の場合、初回寄付の際に分納のご意思をお伝えください。 ・同一寄付で厚生労働大臣感謝状と同時申請はできません。

令和3年度決算

「令和4年度第1回日本赤十字社石川県支部評議員会」を実施し、令和3年度事業報告や決算が審議され、原案どおり承認されました。

